



2026年5月12日

各 位

上場会社名	株式会社 富山銀行
代表者	取締役頭取 中沖 雄
(コード番号)	8365)
問合せ先責任者	総合企画部長 中嶋 尚大
(TEL)	0766-21-3535)

「第7次中期経営計画」の見直しについて

株式会社富山銀行（頭取 中沖 雄）は、現在推進中の第7次中期経営計画「Change & Challenge（2024年4月～2029年3月）」について、計画の進捗状況や、昨今の急激な経営環境の変化および金融市場の動向、並びに2025年11月に資本業務提携契約を締結した株式会社 Plan・Do・See との今後の業務展開を踏まえ、下記の通り計画の一部見直しを行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景

当行は、2024年4月に第7次中期経営計画を策定し、第6次中期経営計画で磨き上げた当行の強みを進化させながら、未来への変革ドライバーとなる5つの重点戦略を策定し、トップラインおよび課題解決力の強化や効率経営の追求に向け、着実に施策を実行してまいりました。

一方、計画策定時以降、エネルギー価格・原材料費の高騰や急激な円安の進行、さらには日本銀行による段階的な政策金利引き上げに伴う「金利のある世界」への転換など、金融経済環境は予想以上のスピードで変化しております。

こうした中、当行は株式会社 Plan・Do・See との資本業務提携契約を通じ、富山県を中心とした北陸エリア等におけるホスピタリティ事業の展開などを通じ、地域創生および活性化に向けた多面的な取り組みを進めております。

こうした急速な環境変化を、さらなる飛躍を遂げるための成長の好機と捉え、迅速な戦略転換を図り、戦略的かつ攻めの計画修正を断行することといたしました。これにより、持続的な成長と資本効率の向上を通じて経営基盤をいっそう強化し、パーパスに掲げる「地域を愛し、お客さまに常に寄り添い続け、最も頼りにされる銀行」を実現してまいります。

2. 主な見直しの内容

(1) 重点戦略の見直し

重点戦略を「1. 金利ある世界での収益構造の転換」「2. 企業支援を通じた地域金融力の強化」「3. 組織・DX 改革による経営効率の追求」「4. 効率的かつ実効性のあるガバナンス態勢の確立」の4つに絞り、環境変化を踏まえた、より一層「Change & Challenge」感に溢れる内容としました。

【見直し後】

1. 金利ある世界での 収益構造の転換
2. 企業支援を通じた 地域金融力の強化
3. 組織・DX 改革による 経営効率の追求
4. 効率的かつ実効性のある ガバナンス態勢の確立

(参考) 見直し前

1. トップラインおよび課題解決力の強化
2. 効率経営の追求
3. 人的資本投資の深化
4. 強固な経営基盤の確立
5. IR・ブランディングの浸透

(2) KPI (主要目標) の見直し

重点戦略の見直しおよび現 KPI の進捗状況等を踏まえ以下のとおり見直しました。

【見直し後】

	2028 年度目標
地域	・事業承継コンサルティング件数 累計 1,000 件 (2024 年度～2028 年度)
お客さま	・NISA 残高増強 80 億円以上 ・相続関連相談会、職域金融セミナーの開催 年間 50 回以上の開催
行員	・外部研修派遣者数 45 名
株主	・コア業務純益 (除く投信売却益ベース) 16 億円以上

(参考) 見直し前

	2028 年度目標
地域	<ul style="list-style-type: none">事業承継コンサルティング件数 累計 1,000 件 (2024 年度～2028 年度)
お客さま	<ul style="list-style-type: none">積立投信の毎月積立金額を 2 倍にする 1 億円以上金融セミナー開催回数を 2 倍にする 230 回以上中小企業等貸出比率 (消費者向けローン含む) 75%以上
行員	<ul style="list-style-type: none">従業員数 10%増 450 人研修時間 10%増 約 586 時間
株主	<ul style="list-style-type: none">最終利益 (連結ベース) 10 億円以上

以 上

第7次中期経営計画の概要（見直し後）

2026.5



<https://www.toyamabank.co.jp/>

INDEX

01 中期経営計画の骨子

02 重点戦略

03 私たちが目指す主要目標



01

中期経営計画の骨子

INDEX

01 中期経営計画の骨子

02 重点戦略

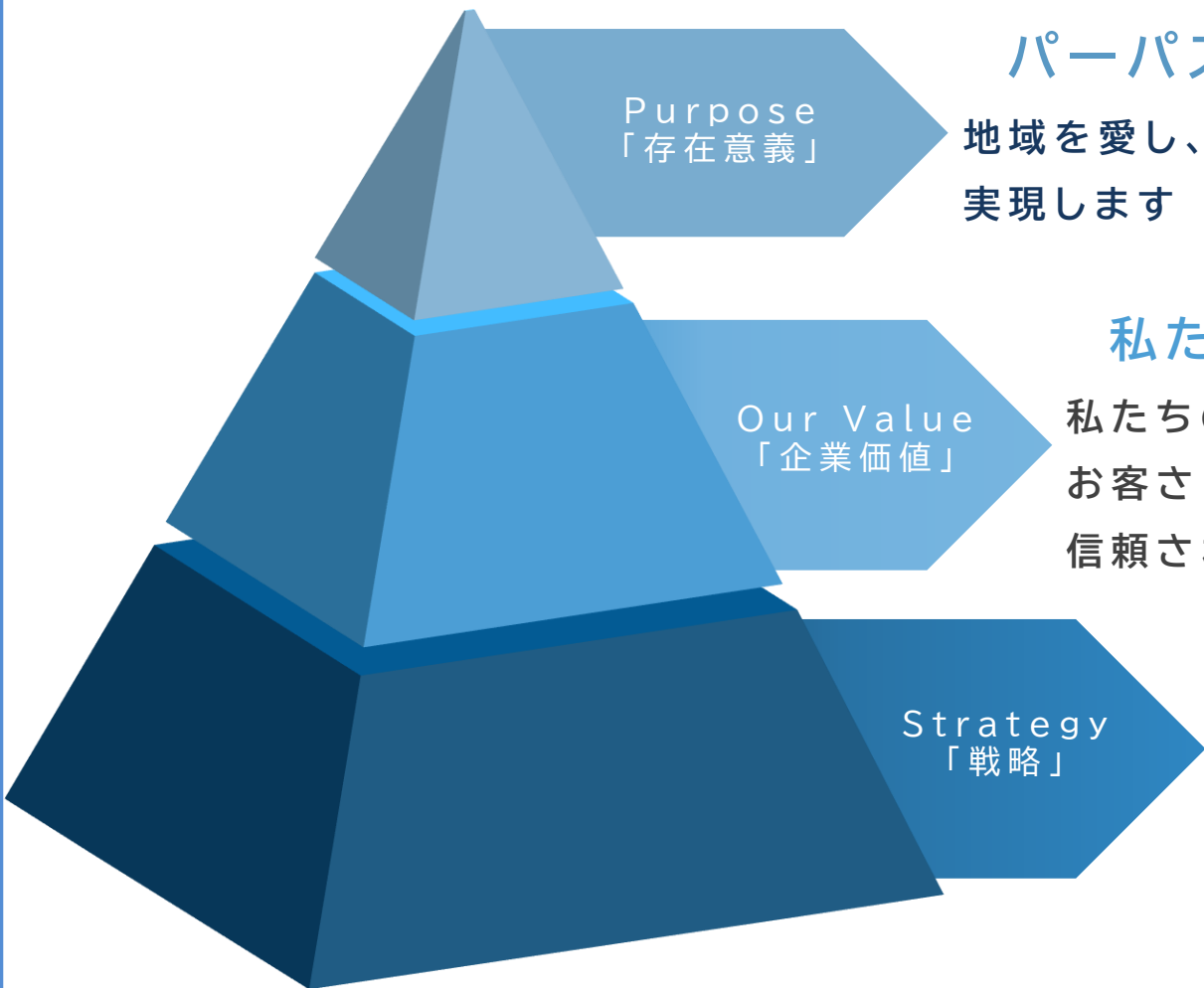
03 私たちが目指す主要目標



パーパス

地域を愛し、お客さまに常に寄り添い続け、最も頼りにされる銀行を実現します

私たちを取り巻く社会構造や金融環境の変化など、さまざまな課題に対して向き合いながら、強いレジリエンスを発揮し、地域の皆さまになくてはならない銀行であり続けるためにそして、未来に向かって力強く変革し、より皆さまに信頼され続ける銀行であるために富山銀行は、皆さまと共に躍進し、新たな価値を共創していきます
すべては、愛する地域とステークホルダーの皆さまのために 富山銀行は挑戦し続けます



パーパス ~Purpose~

Purpose
「存在意義」
地域を愛し、お客さまに常に寄り添い続け、最も頼りにされる銀行を実現します

私たちの企業価値 ~Our Value~

Our Value
「企業価値」
私たちの強みである“傾聴力・誠実さ・機動力”を発揮し、地域やお客さまの課題解決を通して、ステークホルダーの皆さまから信頼され、必要とされ続ける~それが、私たちの考える企業価値です

戦略 ~Strategy~

Strategy
「戦略」
第7次中期経営計画「Change & Challenge」を具現化し、未来への変革ドライバーとなる、4つの重点戦略を策定しました



02

重点戦略

INDEX

01 中期経営計画の骨子

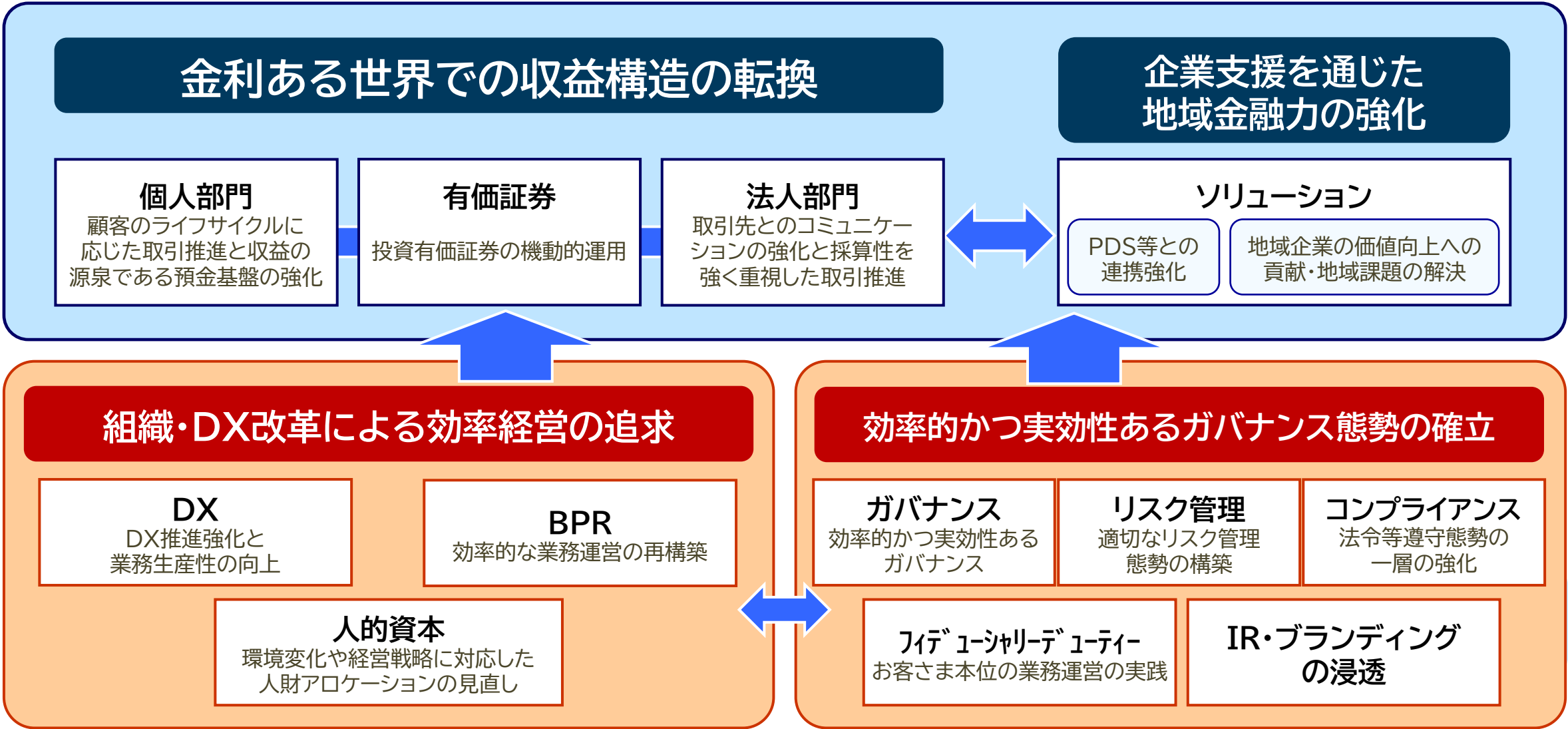
02 重点戦略

03 私たちが目指す主要目標



01	金利ある世界での収益構造の転換	個人部門 法人部門 有価証券	顧客のライフサイクルに応じた取引推進と収益の源泉である預金基盤の強化 取引先とのコミュニケーションの強化と採算性を強く重視した取引推進 投資有価証券の機動的運用
02	企業支援を通じた地域金融力の強化	ソリューション	プラン・ドゥ・シー等との連携強化 地域企業の価値向上への貢献・地域課題の解決
03	組織・DX改革による効率経営の追求	DX BPR 人的資本	DX推進強化と業務生産性の向上 効率的な業務運営の再構築 環境変化や経営戦略に対応した人財アロケーションの見直し
04	効率的かつ実効性あるガバナンス態勢の確立	ガバナンス リスク管理 コンプライアンス フィデューシャリーデューティー IR・ブランディングの浸透	効率的かつ実効性あるガバナンス態勢 効果的なリスク管理態勢の確立 法令等遵守態勢の一層の強化 お客さま本位の業務運営の実践





03

私たちが目指す主要目標

INDEX

01 中期経営計画の骨子

02 重点戦略

03 私たちが目指す主要目標



私たちが目指す主要目標（変更後）

Change & Challenge



円滑な事業承継支援を通して地域を支え、活力向上を目指す

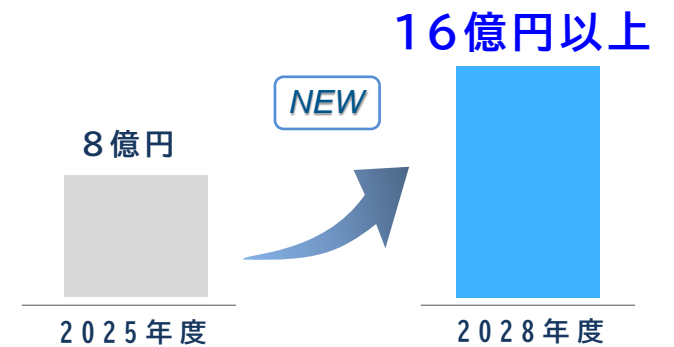
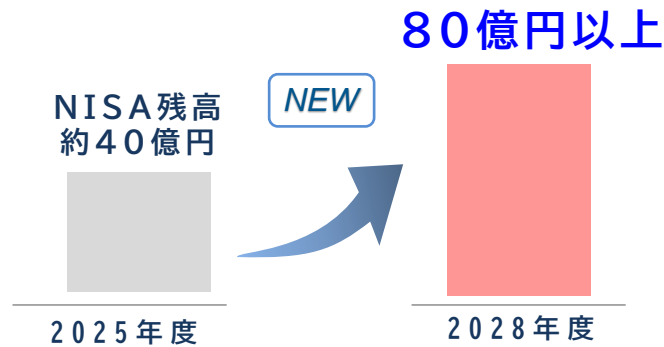
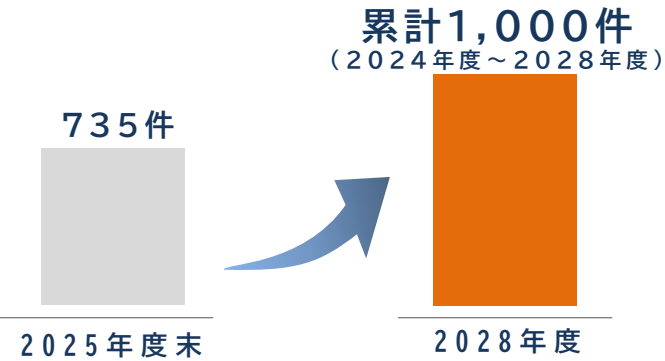
お客さまの資産を増やすお手伝いをする

収益性向上により、ステークホルダーから揺るぎない信頼を得る銀行であり続ける

事業承継コンサルティング件数

NISA残高増強

コア業務純益（除く投信売却益ベース）



お客さまの課題解決に向けて役立つ情報をお届けする

外部知見を活用し、人財スキルの磨き上げにコミットする

相続関連相談会、職域セミナーの開催

外部研修派遣者数

